

# 「働きやすさが進む介護業界」

介護業界では、高い産業技術を駆使した介護ロボットや見守り機器などの導入が始まっています。それにより、体力に自信のない人でも志があれば、安心して介護業界で働くことができるようになってきています。

## 期待される内容！

介護職員の負担軽減      より効率的な働き方の実現      質の高い介護サービス

## 進化する介護技術

働く人と利用者、お互いのために！

**移乗支援**  
ロボット技術を用いて介助者のパワーアシストを行う装着型の機器

**見守り**  
体動センサーを活用した見守りシステム

**入浴支援**  
入浴動作をロボット技術を用いて支援する機器

**移動支援**  
ロボット技術を用いた歩行支援機器

**トイレ誘導**  
ロボット技術を用いて排泄を予測し、的確なタイミングでトイレへ誘導する機器

引用：厚生労働省「ロボット技術の介護利用における重点分野(概要)」

## 愛知県高校生介護技術コンテスト

令和5年7月、第9回愛知県高校生介護技術コンテストが愛知県立古知野高等学校を会場として開催されました。このコンテストは3人1組でチームを作って課題に対する介護技術を競い合うものであり、7分間の介護技術とその介護に込められた思いを伝える2分間のアピールによって審査が行われます。今回は、「居室のベッドに座っている右上下肢に麻痺のある85歳の女性を車椅子に移乗し、帽子を被り、中庭まで移動する介助をする。中庭に到着したらコミュニケーションを図る。」という課題が出され、15校から出場した選手たちは、これまでに学んだ技術を活かしながら、相手に寄り添った介護を行っていました。その結果、今年度は一宮北高校が最優秀賞、桃陵高校が優秀賞となりました。一宮北高校は8月に行われた東海大会でも最優秀賞となり、10月に福井県で行われた全国大会に出場しました。



## 監修者より



下山 久之  
同朋大学社会福祉学部社会福祉学科 教授  
一般社団法人愛知県介護福祉士会 会長

日本は、世界の国々の中で最も早いスピードで高齢化率が上昇

し、超高齢社会となりました。その過程で、家族による介護だけでは対応しきれなくなり、専門職としての介護福祉職が誕生してきました。1987年に社会福祉士及び介護福祉士法が制定されてから30年以上が経過し、そして2000年に介護保険法が施行され約20年になります。この期間に、介護福祉の専門性が探求され、社会的な制度も整ってきました。超高齢社会が豊かな成熟社会となるためには、FEC産業がその社会の基幹産業となり、FEC自給圏を形成する必要があると言われています。FEC産業とは、Food(食)、

Energy(エネルギー)、そしてCare(医療・保健・福祉サービス)に関わる産業です。人生の最後まで豊かに前向きに生きていけるためには、FEC産業の中でも特にCare産業が重要となります。すべての人が生まれてきたことに喜びを感じ、人生の最後まで健やかに生き切ることを支える介護の仕事は、その実践を通し福祉文化・福祉社会の創造を目指す取り組みでもあります。この小冊子を通し、みなさんに介護の魅力を感じて頂けることを願っております。



平野 隆之  
日本福祉大学社会福祉学部 教授

とても介護福祉の専門と言えない大学の教員が、なぜ編集のお手伝いできたのでしょうか。大学以外において、NPO法人コミュニティライフサポートセンターの理事を担い、同法人が新たなケアのあり方を模索する運動に参加していたからです。介護保険制度導入の前後から、その人中心(パーソンセンター)の認知症高齢者ケアや、高齢者に限らず子どもも障がいのある人もごちゃまぜの共生ケアといった新たなケアを実践者とともに考えてきました。その活動の

成果がこの冊子に生かされています。いまでも通用するものですが、施設ケアのあり方についての「入口はその人らしさ、出口は地域」というスローガンを思い出します。施設で介護する人も、利用者のその人らしさを求めると、その人の地域社会との関係を支援するケアが必要というメッセージです。いま、令和の時代にあった新しいケアの創造が必要となっています。若い人の新鮮で、エネルギッシュなパワーのもとに。

## おわりに

高校生の皆さん、最後までお読みいただきありがとうございます。「介護の仕事」についての理解を深めていただけましたでしょうか。「介護の仕事」には、一面的なマイナスイメージが存在しているかもしれませんが、これまで見ていただいたように、その人の人生に寄り添う、この仕事ならではの魅力がたくさん詰まっており、現場には、日々モチベーション高く奮闘する素敵な先輩がたくさんいらっしゃいます。また、皆さんのような若く、未来あふれる人材に多く来ていただけるよう、給与や労働環境を改善する取組も進められています。このような「介護の仕事」の魅力や働きやすさを紹介した本冊子が、皆さんの進路選択にあたっての一助となれば幸いです。